



お話をお伺いした方

三洋商事株式会社  
総務グループ チーフ

水野 智達さん

日頃の担当業務	CSR,ISO の管理・運営
モットー	会社の行動指針 あいさつ、おそうじ、SKH（さん付け、敬語、品格） 特に「おそうじ」は大好きで、職場のみならず自宅でも徹底しています
趣味	音楽、映画鑑賞、読書
休日の過ごし方	土日いずれかの午前中は掃除 その他は、子どもと一緒に過ごすことが多い

### 三洋商事株式会社における社会貢献活動

#### 御社の社会貢献活動で、特に力を入れておられる分野は何ですか。

三洋商事株式会社では、地域貢献に力を入れています。

地域に根付いた社会貢献活動を実施し、地域の皆さまに必要とされる会社を目指しています。

例えば、感謝のおもいを伝える「ありがとう祭り」、小学生を対象に環境教育を行う「エコスクール」、近隣清掃活動などが挙げられます。また、環境教育絵本の製作・配布活動なども行っています。

#### 力を入れている分野では、具体的にどのような取り組みを行っておられますか。

「エコスクール」は、2010年2月から実施しています。最初は本社の校区内にある東大阪市立玉川小学校からスタートし、昨年度までに奈良市内の小学校を含め4校に増えました。

小学校4年生が、ちょうど環境学習を実施する学年にあたり、受け入れを行っています。

エコスクールのプログラムはおよそ半日で構成されており、社員が講師となります。

まず、三洋商事の会社へ来ていただき、最初はパワーポイントを使って概要を説明します。続いて、パワーショベルや大型機械の見学をしてもらいます。普段なかなか見ることができないものなので、子供さん達にも好評ですね。機械を見てもらった後は手作業で携帯電話やパソコンの解体を実施しているところを見学してもらいます。

最後は、学校に戻り、子ども達の手で、携帯電話を実際に解体する作業を体験してもらいます。

東大阪市立玉川小学校では、エコスクールが4年

目を迎え、毎年の恒例行事になってきました。



**その取り組みの成果、また社内での反応はいかがですか。**

会社の行動指針の中に、「あいさつ」を徹底するというものがあります。みんなで明るく元気に働こうという主旨です。子どもさんにたくさん来ていただくと、社内が明るくなり、元気いっぱい子ども達に刺激され、社内にも活気が出ますね。

その雰囲気もあってか、社員もみんな積極的に協力してくれています。

#### 大阪での森づくり活動

**アドプトフォレストに参加されたきっかけを教えてください。**

三洋商事株式会社の創立 50 周年を機に、「エコプロジェクト 2015」というものを実施しています。

2015 年までに社内で使うエネルギーをすべて自給自足できるエコカンパニーを目指そうと、本社と奈良支店でソーラーパネルを設置するなどの取り組みを進めていました。

事業を通じて、二酸化炭素削減の取り組みを進めている中で、さらに環境に貢献できる活動は無いかと探し、アドプトフォレストに辿り着きました。

アドプトフォレストに取り組む前から、「エコプロジェクト 2015」の取り組みの一つとして、環境をテーマにした絵本を製作し、地域の幼稚園や小学校に寄贈するという活動を行っていました。

その絵本の内容は、「森の住人ハッピー」という名前の主人公が活躍する、森林をテーマにしたものです。

([http://www.sanyo-syoji.co.jp/csr/cont\\_boo k.html](http://www.sanyo-syoji.co.jp/csr/cont_boo k.html))

この環境絵本への取り組みの中で、森林への親しみが社内に広がっていたのでは無いかと思います。

**アドプトフォレストに対する、社内での評判はいかがですか。**

昨年の夏、社員と、社員の子どもさんを対象にした活動を行いました。本社からバスで河南町の活動地まで移動し、竹林整備活動を実施しました。

参加者には評判が良く、今後社内で参加者が増えて欲しいと考えています。

**アドプトフォレストの成果や、活動に取り組んで良かったと思える点は何ですか。**

昨年の夏に実施した活動では、社員の評判も良く、本当に活動を実施して良かったと思いました。日頃、自然に親しむ機会はなかなか持てません。

また、子どもさんにも、自然のぬくもりを感じてもらうことができ、有意義な活動だったと感じています。子どもさんから、たくさん喜びの声を頂いて、やりがいを感じました。



**水野さんは、業務以外の場面で森林や山に親しんだ経験はお持ちですか。**

業務でアドプトフォレストを担当するまでは、あまり山へ行く機会はありませんでした。2009 年から現在の業務を担当していますが、この業務を担当してみて、森林や山のことを色々調べるようになりました。

これまで山が嫌いだった、ということでは無く、山に親しむきっかけが無かったのだと思います。

**森づくりを進めていく上では、長期的な視点が大切ですが、長期間モチベーションを維持するためのポイントはどのような点だと思われますか。**

長期的に取り組む、ということは本当に難しいことだと思いますが、「成長を楽しむ」ということが一つのポイントになるのではないかと思います。

自然の成長に触れ、竹林がきれいに整備され、低木が育っていく様子を捉えることができれば、やりがいにつながり、結果として長期間モチベーションを維持できるようになるのではないのでしょうか。

自宅の庭で、(奥様が)ガーデニングをしているのですが、その際にも、成長が目に見えて分かる、ということが、手入れを続けられる鍵になっているように感じます。

**社内でボランティア活動等に対し、何らかの活動支援制度を設けておられれば、その内容を教えてください。**

三洋商事株式会社の社是は「従業員とその家族の幸せを何よりも大切にする」です。

この考えに基づき、勤務形態はフレックスタイム制を採用しております。その結果、ワークライフバランスを実現し、社員がそれぞれに趣味、家族との時間、ボランティア活動等、余暇を有効に利用しています。

**これからの森づくり・アドプトフォレスト活動に対する思いをお聞かせください。**

昨年度は、子どもさんを招待する関係から、夏休み期間中に活動を実施しましたが、他の季節での活動は、また違った楽しみがあるのではないかと期

待しています。

活動範囲が広がれば、新しいメニューも考えられます。

これから、活動の幅を広げていくのが楽しみです。

**最後に、大阪府アドプトフォレスト制度や森づくり活動全般に対するご意見・ご要望があればお願い致します。**

私自身は、業務でアドプトフォレストを担当することが無ければ、山に入ることが無かったと思います。しかし、一度山へ行くと、楽しさや魅力がよく分かりました。

たとえ短時間でも、その場所へ行くだけで「非常空間」を感じることができ、リフレッシュすることができます。



今まで山に行ったことが無い人も、一度行くとその魅力を知ることができると思います。様々な人が、気軽に山へ行けるようなきっかけづくりをしてもらおうと良いのではないかと思います。

三洋商事株式会社様では、小学生を対象にした環境教育をはじめとして、地域貢献活動に熱心に取り組んでおられます。より充実した地域貢献活動を展開するため、様々な工夫を凝らされているお話を伺い、大変心強く感じました。

平石城跡の活動地も、末永く地域の方々に親しまれる山になることを願っています。

インタビューアー

大阪府 みどり・都市環境室 みどり推進課 森づくり支援グループ 上中 理恵子